

報道関係各位
プレスリリース

2017年6月30日
株式会社NYKシステムズ

設備技術者の業務効率向上をサポート 建築設備専用 CAD の最新版「Rebro2017」をリリース

建築設備専用 CAD「Rebro（レブロ）」を開発・販売する株式会社NYKシステムズ（本社：東京都中央区、代表取締役渡辺洋一郎）は、その最新版となる『Rebro2017』を2017年6月30日（金）より出荷開始いたします。

レブロは、直感的な操作性で、空調・衛生・電気の各種建築設備を正確かつ詳細にモデリングできる設備専用3次元CADです。

新バージョンでは、梁貫通可能領域を可視化し、スリーブ検討を支援する機能のほか、「BIM Collaboration Format（BCF）」での情報共有、照度計算や照度分布図作成機能など、建築設備業に携わる方々の業務効率向上に貢献するツールとして、ユーザーの要望を更に反映させた製品となります。これまで以上に機能を拡充し、設備技術者の業務効率向上により一層貢献できるソフトウェアとしてリリースいたします。

主な機能アップと特長

・ 梁貫通のチェック（梁貫通可能領域の設定・スリーブのチェック）

梁の貫通可能領域を設定し、図面上で確認しながらスリーブの配置検討が可能です。スリーブ位置、サイズ、スリーブ間隔のチェック結果をリストや断面図に表示し、NG箇所の確認が容易となります。

・ BCF（BIM Collaboration Format）への対応

BCF Ver.1.0/Ver.2.0の入出力に対応。マークアップ機能を活用し、BCF対応ソフトとのやり取りで「コメント」「スナップショット」「視点」の受け渡しが行えます。無償のRebroViewerもBCFに対応しているため、ライセンスを所有しない関係者間でもコミュニケーションツールとしての活用が可能です。

・ 照度計算および照度計算書・照度分布図作成機能

照度計算を行い、照明器具を一括で配置する機能のほか、国土交通省 建築設備設計基準フォーマットで照度計算書を作成し、Excel形式での保存に対応しています。また、パナソニック株式会社のルミナスプランナーと連携し、照度分布図の作成が可能です。

・機器周り標準仕様のライブラリ化と作図支援機能の強化

機器とそれに付属する接続部材をモジュール化し、そのラインナップをレブロのライブラリに追加しました。また、機器のモジュールを図面上に配置した際に、自動的にメインルートに接続する自動経路接続の機能に加え、機器番手の変更に伴う接続部材のサイズおよび位置の自動調整機能を実装しています。

・2016年度IFC検定に合格

一般社団法人 buildingSMART Japan が実施している 2016 年度 IFC 検定（検定区分：出力【1.設備モデルビュー定義 2016】／入力 2:CAD 系【1.設備モデルビュー定義 2016】）に合格しています。

【株式会社NYKシステムズについて】

設立：2007年5月

代表：代表取締役 渡辺 洋一郎

本社：東京都中央区八重洲 2-6-16

事業内容：建築設備 CAD ソフトウェアの開発・販売

URL：<http://www.nyk-systems.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社NYKシステムズ

東京事業所 営業部 川上

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13-1 水戸部ビル 6F

TEL：03-5833-7172／FAX:03-5833-7173

Email：kawakami.yuji@nyk-systems.co.jp